

会議録

資料 1

会議の名称	西東京市公民館運営審議会平成28年度第9回定例会
開催日時	平成28年12月21日(水) 18時30分から20時30分まで
開催場所	柳沢公民館 第1会議室
出席者	委員：野間春二、馬場真由美、中曽根聡、武司一郎、廣田幸雄、松嶋真、糸山時子、瀬川容子、真鍋五十鈴、石田裕子、上田幸夫 職員：大橋館長、平井事業係長、長谷部分館長、山本分館長、水野分館長、川口主任、神田社会教育主事（オブザーバー）
欠席者	委員：古家新一、大橋亮介、呉世蓮 職員：鴨志田分館長
議題	(1) 平成28年度第7回定例会の会議録について (2) 報告事項 ①行政報告 ②公民館だより編集室報告 ③都公連関係報告（委員会関係報告ほか） (3) 審議事項 ①答申の起草について ②事業計画書・事業報告書について ③来年度事業について (4) 協議・確認事項 ①平成27年度公民館事業評価表について ②その他 (5) 事務連絡及び情報交換
会議資料の名称	平成28年度第9回定例会次第 資料1 平成28年度第8回 定例会会議録(案) 資料2 平成28年度公民館主催事業計画書 (6件) 資料3 平成28年度公民館主催事業報告書 (9件) 平成28年度第9回公民館だより編集室会議録(要旨) 合築複合化基本プラン検討部会資料 答申文(案) 平成29年度西東京市公民館事業方針分館長会議決定稿 公民館だより(1月1日号)
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
傍聴者	<input checked="" type="checkbox"/> 有り(1人) <input type="checkbox"/> 無し
会議内容	
<p>議題1 平成28年度第7回定例会の会議録について 2ページ「減殺」を「減災」に、1ページ「パブリックコミットメント」を「パブリックコメント」に、「下野屋」を「下野谷」に修正する。</p> <p>議題2 報告事項 ① 行政報告(館長)以下3項目の概要を報告する。 1、文教厚生委員会…配布資料(本日の公運審で配布のものと同じ)について説明。3館合築に関する審議。2館合築、公民館存置について説明。 2、合築複合化基本プラン検討部会…昨日開催にて終了した(10回)。まとめを作成する。 3、教育長辞職…教育委員の中に職務代理者がいる。</p>	

② 公民館だより編集室報告

委員：公民館だより編集室会議録に沿って要旨を報告

③ 都公連関係報告

委員：本日東大和中央公民館で定例委員会に出席。1月21日（土）東京都公民館研究大会（福生市）における第4課題別集会のグループ分け等を行った。

事務局：分科会別名簿、要項を迫ってお届けする。現地集合、各自申込み、現地解散とする。

議題3 審議事項

① 答申の起草について

委員：12月7日、起草委員が集まり、文面調整をおこなった。結末部、もう少しボリュームを持たせたい。

委員：市民企画事業について、「同一人が複数の利用団体の中心となっていること」自体は問題ないと考えます。

委員：1月に本答申として提出したいと、起草委員は考えている。

委員：「Ⅰ 諮問の背景」中、ひばりが丘の分室化と行政評価は別ではないか。また、「Ⅱ 公民館主催事業について」中、「1 公民館の目的」「2 西東京市のこれまでの議論」「3 国等の動き」とすべき。

委員：主催事業を通して何が実現されるのが望ましいか、は、「付箋ワークのまとめ」上部の「社会」の記述に表れている。

委員：[資料]中、「主催事業」は「主催講座」に統一する。ほか、箇条書き部分を文章化するなど体裁をそろえる。また、長期講座は回数を記すなど整理を要する。

委員：本文最後、ひばりが丘をきっかけに他館も分室化するのでは、という不安があった。当時の公運審議事録を参照すると、適正配置は谷戸とひばりが丘の問題である、と発言されている一方、将来のことはまだわからない、といった発言もあった。ここをきちんと振り返り、整理して書いておきたい。

市民参加について調べてみると、政策決定の場に参加すること。利用者懇談会を使って市民企画事業について学習テーマを提案してもらい、補う意味でアンケートもとるなど、政策決定への関与の場の一つとすることの提案を盛り込みたい。当市には市民参加条例があることも視野にいれておきたい。

委員：ひばりが丘の分室化は参加・協働の推進の観点からも議論できるのではないかと、ということ意見を意見として書き込むかどうか。市民参加論の中にどう位置づけるか、はまだ十分に練れていないのではないかと。

大切なのは事業評価に関わっているということ。参加・協働論で、本来職員の役割がある、利用懇等さまざまな機会を通して、住民の声を事業に反映させていくことで、高い評価を求めていける、ということを書き込むことによって、行政評価に対する、われわれの批判的論点をはっきりするのではないかと。

十分ではないのではないかと、指摘されているが、十分である、公民館というのはこうした迂遠な方法をとっているけれども質を深める事業展開をしているのだと述べることで、評価のあり方が単純ではないことを示していこう。

委員：とすれば、Ⅳの3が必要（評価に対する公民館の主張）。Ⅰの3点にからむ。

委員：全国的に職員引き上げにともない、市民の参加・協働で事業展開していこう、という動きはある。しかし、参加と協働に埋没するのではなく、独自の公民館における働きがここにはある、それによって質の高い事業を行っている、ということを書いていくことで納得してもらいたいということもある。利用懇だけでなく日々の職員と市民の対話も事業企画のポイントである。公民館の固有性を書き込んでいきたい。

委員：Ⅳの1、末尾「高い評価におごることなく……改善していく必要がある」とあるが今までやってこなかったのか。

委員：さらに施策を示す必要はあるだろう。

委員：「Ⅱ 公民館主催事業の意義について」とあるが「意義」だろうか。

委員：検討を要する。

② 事業計画書・事業報告書について

平成28年度公民館主催事業計画書（8件）、平成28年度公民館主催事業報告書（2件）

（計画書）

【田無公民館】社会問題講座

事務局：第1回と第5回の内容を入れ替える。

「資料2」のとおり承認。

（報告書）

「資料3」のとおり承認。

議題4 協議・確認事項

① 来年度事業方針について

事務局：事業方針案を添付したが、先月と同じものがある。インクルーシブな教育と社会について言及を、という指摘を前回いただいたが、係長級で研究、意思統一に至らず、研究課題とした。さらに、ESDや「東京宣言」の採択についても同様である。

諮問答申に対する具体的な課題の記入については、なんらかの形で盛り込む。

委員：答申については「重点的に取り組む課題」に「答申の趣旨を生かす」旨を書き込まれたい。

事務局：その通りと認識する。

委員：「重点的に取り組む課題」は「課題」に応える形の表記を。

② 平成27年度公民館事業評価表について

事務局：12日に担当委員で会議をもった。比較のため、26年度評価を配布した。1月の教育委員会に報告したい。

委員：タイトなスケジュールであり、担当委員に一任する。1月公運審前に教育委員会に提出することを承認するが、事前に全委員が見られるようにしてほしい。

議題5 事務連絡及び情報交換

事務局：委員研修について、辻浩先生(社会事業大学)を講師に行う。

委員：2月5日に「東京コンファレンス」を開催する。三多摩と区部の交流もねらいである。また、1月、3月に「学びのクリエイターになる！」プレ会議が開催される。

委員：小学生の公民館見学があるが、いつも活動中に突然訪れる。事前にわかっているはずなので知らせてほしい。

事務局：以後、事前にお知らせする。

次回の日程について

平成28年度第9回定例会

1月25日（水）18時30分～

於：柳沢公民館 第1会議室